

ひかりの丘

第96号

2014.7.31

社会福祉法人 いわき福音協会

福島整肢療養園

〒970-8001

福島県いわき市平上平庭字

古館1番地の2

TEL:0246-25-8131

FAX:0246-22-1259

<http://www.ryogoen.jp/>

E-mail:info@ryogoen.jp



目次

『ふ・れ・あ・い』	2~3	Happy通信	5
看護指導部方針と取り組み	4	ご存知ですか?	
平成26年度医療安全管理者養成研修に参加して	4	広い視野を持ってサポート~臨床心理士の仕事~	6
		りょうご園カフェへようこそ!	6

『ふ・れ・』

春の運動会

5月23日金曜日、春の陽気に気分もルンルン! 保育士手作り競技が3つ並んだ屋根付き降車場に集合、春の運動会が行われました。

まずは、競技の説明を…。スタートすると待っているがボールに吊るされた高さが違うボールがゆらゆら。このボールに身体はどこかでタッチ!! 頭でも、手でも、お尻でも?(笑)

次に待っているのが、元の姿が段ボール?とは思えない程の高くて幅が狭いトンネルです。ここをふつからな様に上手に通過!! これは椅子を押す運転手さん(家族・職員)の腕にかかってますね。

最後は好きな色のカードを引いて、中に書いてある物を探してくる買い物競争。屋根付き降車場からすぐ側の物にあたった人はとってもラッキー。この日の運が試されるとあって、家族・職員もドキドキ!! こんな種目をお父さん・お母さん・職員と楽しみました。



4月29日(火・祝)にいわきアリオス中劇場で開催された♪クロボンズと新沢としひこのうたってあそぼうコンサート♪に、りょうご園、なずなホーム、エデンの家のお友達で参加しました。

開演前に平中央公園を散策しルンルン。初めてのコンサートにワクワク。開演するとステージでパフォーマンスしてノリノリ。と~~~~っても楽しいひとときでした。

クロボンズさん、新沢としひこさん、そして今回ご招待くださったキッズスマイルプロジェクトのみなさん。ありがとうございました。



キラキラ太陽が眩しい季節になりました。今年はみんなの大好きなメロン、トウモロコシ、ミニトマト、鑑賞用としてゴーヤを植えました。毎日お世話をする子どもたちの目も負けないくらいキラキラしています。

子どもたちは外の心地よさ、土のおいを感じ、土で汚れた手を嬉しそうに眺めたり、外の自然に触れ楽しんでます。まだ発育途中ですが毎日水やりをしながら「大きくなあれ」とおまじないする元気な声がりょうご園の中庭に響いています。

育てる喜び、食べる楽しさを五感で十分に感じられるように見守っていきたいと思います。

できた野菜で今年は何を作ろうかな? 去年は子供たちとカレーを作ったな!と子どもたちも職員も収穫を楽しみにしています。キラキラした子どもたちの笑顔を大切にしていきたいです。

できた野菜で今年は何を作ろうかな? 去年は子供たちとカレーを作ったな!と子どもたちも職員も収穫を楽しみにしています。キラキラした子どもたちの笑顔を大切にしていきたいです。



あ・い・い



ふれあいたのしい会

6月21日(土)、今年も恒例のふれあいたのしい会が開催されました。入園者をはじめ、家族、当園外来通院者と家族、協力ボランティアやスタッフなど合わせて約250名の参加があり、盛大に執り行われました。

企画内容も盛りだくさんで、プロによるヘアセットやネイル、ハンドメイド段・小物、同法人のかがやき、ポポロの販売。折り紙やどんぐりを使用したの制作。メインステージではマジックショーをスタートにEXILEダンス、よさこい、ファッションショー、新人紹介など多彩なパフォーマンスが繰り広げられました。



オシャレなネイルに
ついでに?

ふれあいたのしい会に参加して

保護者 馬上 悦子

園行事は楽しみに参加させていただいています。今年は何んな企画が準備されているか、ワクワクしながら当日を迎えました。

印象に残ったことを挙げたいと思います。ファッションショーは、初めての試みでした。舞台の袖にいますと、出番を終えドレスアップした女性たちの満足そうなほほえみを見ることができました。美しく変身した華やかな女性なのだなーと成長を感じました。

また、三人の外來ママたちの姿は新しい息吹があり、力強く頼もしく未来を感じました。いつまでも力を合わせて頑張れることでしょう。

毎年恒例の新人の方々のパフォーマンス、たくさんの方々が専門性を身に付けて勤務してくださるので、保護者としては喜びです。伝統あるすばらしい施設の一員として、十分に力を発揮してくださると思っています。ここで働く皆さんが一丸となって目標に向かい真実に取り組む姿が、何よりすばらしいと思っています。毎年みんなで楽しめる会になっており、職員の方々に感謝です。

楽しい一日を、ありがとうございました。



ステキでしょ?



ふれあいたのしい会について

スマイルリボン 秋元 忍

ふれあいたのしい会には「スマイルリボン」というグループのメンバーの一人として参加させていただきました。

「ハンドメイドの物を作って出店していただけませんか?」というお誘いから始まったことですが、私たちのグループとしての活動においても日が浅く、子どもの体調によって全員が集まることがなかなかできなかったため、不安もありました。

約4ヶ月間、個々の製作を中心に「ゆっくり、できることから」を合言葉に動んできました。

当日、私たちが品物を並べるブースには、私たちがイメージした南国の雰囲気のお店をリハビリの先生方が一生懸命製作し、レイアウトしてくださって、とても感動しました。

普段は担当の先生としか、あまり接することのない私たちにとって、たくさんの先生方と協力したり一つの目標に向かって気持ちを共有することは、とても貴重だったように思います。

出店する中では、先輩のお母様方、病棟の方々、普段着のスタッフの皆さんとお話したり、作った物を喜んで買ってくださいことも、本当に嬉しかったです。

ネイルやヘアメイクをされて、笑顔いっぱいの子どもたちを見ていると、本当に心が温かくなりました。

子どもたちも私たちが、みんなが元気にいきいきと輝ける場を作ってくださったことに感謝申し上げます。

来年もお誘いがあれば、是非参加したいと意欲満々の私たちですが、希望としては、輝ける子どもたちの未来への道筋作りのためにも、りょうこ園の関係者だけではなく、地域の方々との交流の場として規模を広くしていただければ、もっともっと楽しい時間が持てるのではないかな、と思っております。



おどろきいっぱい
マジックショー



手作り小物が
いっぱい!!



みんなピタリ
よさこい!!

看護指導部方針と取り組み

看護指導部長 橋本 澄子



新年度のスタートから3ヶ月が過ぎ、活動が軌道に乗っている時期ですが、研修広報委員会より看護指導部の活動方針は？と面を叩いていただきました。紙面を借り今年度の方針等に、ご理解をいただければ幸いです。

看護指導部の理念

私たちは、福島県看護協会の理念に沿って、障害児・者の生命の安全と個人の尊厳を守り適切な看護・支援を受けられるよう看護の実践に努めます。

目標

- 1 思いやりのある温かい看護を実践し、個々の生活過程を整えます。
- 2 リハビリテーション医療チームの一員としての自覚を持ち、常に看護水準の向上に努めます。
- 3 専門職として、資質の向上を図り信頼関係を確立します。
- 4 地域の療育及び福祉に向けて、地域に開かれた支援を目指します。

年間を通しての課題は、勤務体制、職種の連携、人材育成（新採用者への指導、看護業務の変化に対応できる教育）、個別支援計画の運用、新たな人事考課制度へのトライアル等、役割拡大に向けての方向を話し合い平成26年度の方針を確認しました。

また、新たに出された中期計画とその軸の動きに沿った展開をしてい

かなければなりません。以下の課題への取り組みに重点を置きます。

①病棟統合への取り組みへの加速化に向けて

2つの病棟の統合には、両病棟における必要な看護の共有化が迫られています。看護手順等の整備も主任会議を中心に進めていくところですが、お互いの看護内容を体験していく機会なども考慮する必要があります。

②地域貢献への要請に沿った看護の取り組み（身体・床・車いす・床の短期入所、日中一時支援）

入居児・者の日々の看護内容には担当者としてお互い責任を明確にすることが身についていることですが、新たな受け入れには自分と均質なケア提供に懸念があります。特に夜勤要員が少ない中での取り組みでは負担感が発生します。入居児・者の状態像は変わってきています。日々の業務に必要な観察・ケアの広がりを持っていく必要がある。また各目的の経験には偏りがあります。対応策には業務マニュアルの整備、経験値を均等に業務分担と評価、受け持の偏りをなくす等、新たな挑戦を意識して進めていく必要があります。

③勤務体制の見直し

●夜勤時間の見直しが必要な時期にきており、2人2交代制による

夜勤の長時間労働の是正。福祉職の夜勤導入へ可否などの課題。
●休日の平均化。今年度より年間交代形労働時間制の運用への取り組み。

●業務の軽減策。各職種の時間枠における業務内容の必要性、安全策を踏まえた計画。

●長時間勤務の受け入れと適切な機能的業務のあり方の検討。

●人事考課制度の開始を受けて自己の課題への取り組みの方法を考えていくことが求められています。努力の過程を自分で整理して、示していく方法が求められています。

各自が自己の課題を明らかにし、年間の中で取り組み、互いに一歩前進する取り組みを目指していきます。各自の担当児・者への日々の関わり、自己の研修や研究的視点を大切に年度ごとに継続していけることが望まれます。

⑤職場におけるチームワーク

職場は誰のもの？私たちが職制において日々仕事を行うのには目的があります。その目的を遂行するための組織の一員としてチームワークを考えて行動することを大事にしたい。特に入居児・者の安全・安心を考え、楽しい雰囲気や穏やかな雰囲気や職員が看護することにより、入居児・者に与える環境影響が大きいと考えます。

また、身体表出でゼロへの考え方や、虐待防止法の制定などケア提供者として、自分の基盤をもう一度基本にもどり見直すことも迫られていると考えます。時代の変化に押されるだけでなく、自ら情報収集をし、考え新たな向き合い方を共に考え、質

の向上に向き合いたいと思います。看護指導部は、2つの病棟と外来の配置、職種は看護部・准看護部・保育士・児童指導員・介護員・看護助手の方々、そして勤務時間短縮は、日勤、夜勤、早番、遅番、遅々等と日々メンバーが替わり、多様なチーム編成で展開されています。常にチームワークでは、お互いの情報共有、目的理解が大切です。

私は、りょうご園に勤務して5年目を迎えます。日々朝会の前にはりょうご園では、黙祷を行い静かにやる

時間があります。この職員は何を祈っているのでしょうか？私は、今日一日が平和で穏やかな一日でありませうと。そして、共に働く方々が、落ちついて穏やかな心で一日が過ごせませうと。また本日ケアを受けられる皆様や関わりのある方々に幸せな時間が維持できますようにと祈っています。同会の方によっては、この祈りの時間も、途中になることもありますが、今年度願いをもっと実践に向き合いたいと思います。よろしくお願ひします。

は起こりうるもの。チームや組織全体のあり方を改善しなければ防止できない」と、医療機関には医療安全管理者の配置が求められました。このため研修目的は、医療現場のリスクマネジメントを効果的に行い、医療の質を確保することができる医療安全管理者を養成する。また、組織全体のリスクマネジメントを行う医療安全管理者の役割が担える能力を養うことでした。研修内容は医療安全に必要な基礎知識（安全管理に関する法令や制度、心理学や人間工学など）から始まり、事故発生時の対応・ヒューマンエラー事例分析・倫理的責務・職員への研修企画と運営など、医療全体に関わるものでした。

私たちが医療従事者にとって、医療安全は医療の質の向上と共に最優先の課題と言えます。（人は誰でも間違える）からこそ、事故を未然に防ぐ対策と、日頃から過去の事例や他人の経験を基に、自分ならどうするか考えることが大切だと強く感じました。今後この研修での学びを深めると共に、日々の実践の場で活かしたいと思ひます。

平成26年度 医療安全管理者 養成研修に参加して

副看護指導部長 大河原 奈美子

今回、私は5月20日～5月28日（5月25日を除く）郡山市の福島県看護会館（みらい）で行われた「医療安全管理者養成研修」に参加しました。

「患者を取り違えて手術をしてしまった」「人工呼吸器の加湿加湿器に、滅菌精製水を補充すべきところを誤ってエタノールを注入してしまった」など、1999年から2000年にかけて大病院で起こったこれらの事故は、当時社会問題となり医療安全対策の整備のきっかけになりました。

事故の要因を分析する中で、「医療事故は個人の努力で防ぐもの」から「誰の責任なのか、ではなく何がその人に失敗を起こさせたかを考える」というシステムアプローチへと変わりました。そして、「医療事故



Happy通信

川村 由架理さんの
「元気だよ」特集

ゆかりさんは小さな頃からりょうご園で生活していました。養護学校高等部を卒業して地元に戻ることも考えましたが、希望に叶う生活がうまく組み立てられず、卒業後もりょうご園での暮らしを続けていました。その後ゆかりさんはいわきのグループホーム(以下GH)で暮らすことを決心。高等部卒業から一年経ったこの4月に新たな生活をスタートさせました。毎日がとても楽しいそうです。そんなゆかりさんの地域移行までの準備や手続き、そして現在の暮らし。今回は地域で暮らし始めたゆかりさんのハッピーをお届けします。

- 平成23年11月 地元で支援会議実施(将来の生活について相談を開始)。メンバーはご家族、児童相談所、自治体、相談支援事業所、りょうご園(翌年からは学校も進路指導として参加)。
- 平成24年11月 家族でいわきの入所施設や、生活介護事業所、GHを見学。「GHで暮らせると良いね」との思いが家族の中に芽生えた。
- 平成25年10月 家族で建設中のグループホームを見学。GHでの生活を決心。生活介護事業所のポポロ、エデンの家を見学。
- 平成25年11月 相談支援事業所ふくいんと「計画相談」契約(12月に「一般相談支援・地域移行」契約)。
- 平成25年12月 いわきで支援会議開催。「一般相談支援・地域移行」を活用して、ポポロ、エデンの家の体験利用を開始。
- 平成26年2月 「一般相談支援・地域移行」を活用してGH体験利用開始。日中の体験から開始し、慣れた頃合いを見て宿泊にもチャレンジ。「GH行こうね」が口癖になりました。
- 平成26年3月 りょうご園を退園
- 平成26年4月 GH生活スタート。ポポロ、エデンの家の利用開始。りょうご園には週に一度リハビリ(PT)で通院しています。



平成25年12月
りょうご園の職員とGHを見学



平成26年2月
GHを体験利用



平成26年4月
GH入居 お父さんとツーショット



平成26年3月
GHにも慣れてきました

グループホームに行ってから...

「大盛りゆかりちゃん」というニックネームがつく程、ご飯をたくさん食べるゆかりさん。世話人さんの作るおいしい朝ご飯から1日ははじまります。

お風呂やトイレでの脱衣も時間をかけながらもなるべく自分ひとりでを行っています。

GHの利用者の中で一番年下のゆかりさんは、他の利用者の方たちからとても可愛がられていて、特に仲の良いSさんには甘えるような表情やしぐさも見られました。GHの良いところは?と聞くと「ごはんごはん、おいしいよ!」「みんながいるから、GHが好き」と素敵な笑顔で答えるゆかりさんを見て、毎日優しい皆さんに囲まれながら安心して生活を送っているのだろうとこころまでうれしくなりました。



りょうご園では同年代の人達との生活でしたが、当園退園後、GHでは年上の人達との生活で家庭的な部分、エデンでの活動では同年代の友達、ポポロでは多年代の人達との関わりなど、いろいろな刺激を受け、成長しながら楽しく過ごしているゆかりさんを感じました。

【生活介護事業所】

●エデンの家

週3回、同年代の利用者と一緒に様々な活動をしています。この日は普通の折り紙の4分の1程の小さな折り紙に丁寧に器用に折り目をつけながら、あじさいの花を折ってくれました。

GHでは甘えん坊だったゆかりさんですが、ここではお姉さんのように年下の利用者を気にかけて、可愛がっている様子でした。

●ポポロ

週2回利用しています。

この日は体育館で行われたスポーツ大会に参加し、青組・白組チーム対抗の玉入れやリレー、個人競技のフライングディスクなど様々な競技に挑戦しました。

はじめは緊張した様子だったゆかりさんも、周囲の熱い声援を受け一生懸命競技に取り組んでいました。

中でも個人競技のフライングディスクは、離れた場所から輪に向かってfrisbeeを投げるという難しい競技でしたが、ゆかりさんは見事に全投成功!記念品をもらってとてもいい笑顔を見せてくれました。



ご存知ですか？ 広い視野を持ってサポート～臨床心理士の仕事～



臨床心理士
上遠野 麻希

H24年7月から、りょうご園で初めての臨床心理士として勤務することになり、2年が経とうとしています。臨床心理士の働く領域は、医療、福祉、教育、司法など様々な分野にわたります。分野によって、仕事内容も多岐にわたります。こりょうご園では主に、問題の状況や課題などを心理検査や面接などによって明らかにし、子どもの理解や支援に役立てる心理アセスメントが主になっています。心理検査といっても、発達検査や知能検査、性格検査などがあり、子どもの特徴や目的に応じて実施しています。

またりょうご園では、医師を始め、PT、OT、STなどのリハビリスタッフや看護師、保育士、介護員、ケースワーカーなど様々な職種の方々がいます。そのような方々と連携しながら、広い視野をもって子どもたちを理解しサポートすることが、りょうご園での大切な役割だと思っています。りょうご園の心理士としての位置づけは、まだまだ基礎段階であり、試行錯誤の毎日ですが、今後もよろしくをお願いします。



寄附者ご芳名

〈平成26年4月〜〉

- 崎原キミ子 様
- 渡部光男 様
- 高岡 忠 様
- 門馬容子 様
- 谷山あや子 様
- 田邊幸一 様
- いわき芸能倶楽部 様
- いわきヤクルト販売株式会社 様
- 太田慶子 様
- 木下晋宏 様

〈平成25年2月〜〉

- いわき女性の翼 様
 - 米海軍横須賀病院 様
 - 岡部 明 様
 - 伊藤恵美子 様
 - 福島県信用組合協会 様
 - NPO法人 難民を助ける会 様
- (順不同)

ご支援をいただきました皆様へ、深く感謝を申し上げます。



このコーナーでは、当園のスタッフが好きなこと、気になることなどを自由におしゃべりします。スタッフの新たな一面がわかるかも!

第9回は、平成25年12月より第一病棟の看護師に赴任されました榊枝沙紀さんです。

「病棟のフレッシュな職員を紹介します」



みなさん、こんにちは!りょうご園第一病棟看護師の榊枝沙紀(さかきえださき)です。簡単な自己紹介となりますが、私は高校卒業後クリスチャン大学に進学・就職し、生活していた茨城を離れ、昨年からは生まれ育ったいわき市に戻りりょうご園に入職し半年以上になります。好きなことは、東南アジアの文化や食べ物、その国の人と雑談することです。理由は

学生の時にカンボジアへボランティアに行ったことがきっかけです。現地の学校とアンコールワットで、お土産を売って生活をしている子どもたちと関わってきました。これは、私の人生の中でも貴重な経験の一つです。当初は全く英語が話せませんでした。歌手の高橋優さんが歌う「福笑い」の歌詞の“世界の共通言語は「英語」ではなくて「笑顔」である”のように、言葉を越えてカンボジアの子どもたちと通じ合うことが出来ました。

りょうご園の子どもたちともそのように笑顔で向き合っていきたいと思います。これからもよろしくをお願いします。



編集後記

友人の結婚式の披露宴で余興をすることになり「バラバラ漫画のようなコマ送り動画なら、写真を撮ってつなぐだけで簡単にできるのでは?」と、友人数名と半ば思いつきでVTR作りに挑戦。被写体を数ミリ単位で動かして、その都度写真を撮り、BGMに合わせてつなげる…文字にする

と簡単そうですが、やってみるとなかなか根気のいる作業。

休日返上、時には平日の仕事後も「スタジオ」と称した友人宅に集まって黙々と作業を続けること約2ヶ月。精魂込めて作ったVTRが新郎新婦の良い思い出になれば…と燃えています。(続)